

# RSウイルス感染症

## ★症状★

◇RS（アールエス）ウイルスを原因とする感染症で、主症状は発熱、鼻水、せきなどです。RSウイルスには多くの種類があるため、何度も感染する可能性があります。例年、秋から冬（9月～翌年1月）にかけて流行します。

◇RSウイルスの感染力は非常に強く、生後1歳までに半数以上、2歳までにほぼ全員の乳幼児が感染するといわれています。初めての感染（特に生後数週間～数箇月間）では重症化しやすく、細気管支炎（※）、肺炎といった重篤な症状を引き起こし、症状によっては入院が必要な場合もあります。低出生体重児や基礎疾患のあるお子さんは、より重症化のリスクが高いといわれています。



（※）症状の特徴：ゼーゼーという喘息のような呼吸音や呼吸困難

◇潜伏期間は2～8日間程度で、発症してから治癒まで通常7～12日かかります。

## ★治療方法など★

◇RSウイルスには特効薬やワクチンはなく、症状を和らげる治療（対症療法）となります。

## ★感染経路★

◇感染している人のせきやくしゃみのしぶきにはRSウイルスが含まれています。感染している人と濃厚接触し、しぶきを直接吸い込むことにより感染します。また、しぶきがついている手指や物を触ったり、口に入れたりすることでも感染します。

## ★予防方法★

- ◇日常的にお子さんに接する方で、せきなどの症状がある場合、マスクを着用しましょう。
- ◇子どもたちが日常的に触れるおもちゃなどをこまめに消毒しましょう。消毒にはアルコール及び塩素系消毒薬が効果的です。
- ◇流水と石けんでしっかり手洗いを行い、手指のアルコール消毒も行いましょう。  
※消毒薬はお子様の手が届かないところに保管してください。

☆正しい手洗い方法の紹介☆（京都市こどもの感染症 「手洗いの方法」）

<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/cmsfiles/contents/0000197/197526/tearai.pdf>

**気になる症状がある場合はすぐにかかりつけの医療機関を受診しましょう！**



★お問合せ先★

○保健福祉局 衛生環境研究所 管理課 疫学情報担当  
(TEL:075-606-2674 FAX:075-606-2671)

(平成28年9月編集)